

イスラエルは即時停戦

東京・渋谷 宗教者ら抗議行動



「即時停戦」「武器で平和はつukれない」と訴える参加者＝26日、東京・渋谷駅前

パレスチナ自治区ガザ地区でのイスラエルの軍事侵攻に抗議しようと、宗教者らが26

日、東京・渋谷駅前です。参加者は「即時の停戦を」「武力で平和はつukれない」と訴えました。

「平和をつくり出す宗教者ネット」など4団体呼びかけたもの。行動は今回で19回

目となります。

国連安全保障理事会は26日、パレスチナ自治区ガザ地区での即時停戦を求める決議を採択しました。昨年10月の軍事侵攻が始まって以降、初めてです。

日本キリスト教協議会総幹事の金性済（キム・ソンジエ）さんは、日本語と英語でスピーチ。ガザ地区での死者は3万2000人を超えたとして「私たちは無関心でいいのか」と発言。日本政府が安保理決議に賛成しながら、第三国への戦闘機輸出を可能とする閣議決定をしたことを批判。「政府は言っていることと、やっていることが矛盾している。イスラエルの虐殺に負担する国になってはいけません」と訴えました。

行動には外国人観光客からも足を止め注目しました。イングランドから新婚旅行で来日し、宣伝に飛び入り参加した女性(31)は「軍事侵攻を止めたい。パレスチナ解放を」と話しました。